

試験炉製作状況レポート ④

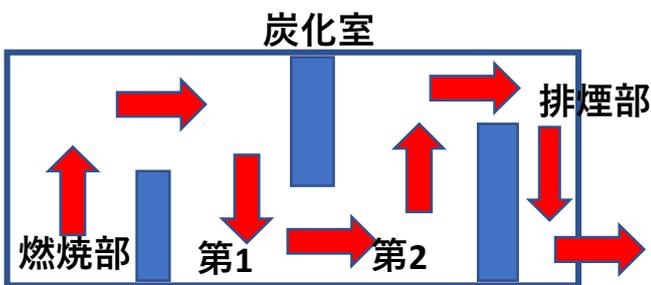
いよいよ本体下部のレンガも最終段階になりました。

足りなくなった耐熱レンガもメグテックさんから宅配いただきました。燃焼部の構造も固まり、作業性重視と気流の流れを推測しながらレンガの加工をしました。手作業での加工もレンガの均一性の質が高いために、意外とスムーズにできました。

蓋部は、重量や作業性を考慮して以下の写真の形でテストします。

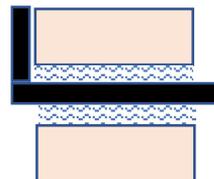


本体にセラミックファイバーパッキンを敷き蓋部を載せます。



熱気がどのように移動するか？
特に第2炭化室での熱の集中と
均一性を可動壁でテスト。

レンガ・セラミックファイバーで
断熱とシール性をテスト



蓋部の構造：セラミックファイバーとレンガを後乗せして軽量化と作業性をテスト、上からの温度測定や可動壁の移動や竹材の装入や搬出等の作業性を考慮、熱応力での変形も調査。

